

# せきっ子



12月24日

校長 高野

## 2学期、終了！

一番長い期間である2学期も今日で終了します。体育大会が1学期に開催されたため、子どもたちのモチベーションが心配でしたが、取り越し苦労に終わりました。

2学期は、見学遠足やウォークラリー、6年生は修学旅行と大きな行事があったり、火災に遭われた方への募金活動を全校児童で取り組んだりすることができました。いろいろなことを考えたり、体験したりすることができた2学期になりました。

また、子どもたちの日々の様子を振り返ってみると、縄跳びや持久走の練習に根気強く取り組みたり、図工の作品や国語のパンフレット作りなど、学習したことやアイデアを生かしながら制作したりすることができました。さらに2学期は運動場で遊ぶ子どもが増え、学年の枠を越えてドッジボールをしたり、一輪車の練習をしたりする姿も見られました。どの子どもにとっても、『ワクワクする2学期に』できたように思えます。今日帰ってきたら、「2学期で一番ワクワクしたことは何？」と聞いてみて下さい。

明日からは冬休みです。インフルエンザなどの病気や交通事故などに気をつけて、健康で安全な、楽しい冬休みにしてください。そして、1月8日（木）に元気な笑顔の子どもたちと会えることを楽しみにしておきます。

2学期も本校の教育に対して、ご理解、ご協力をいただき大変ありがとうございました。3学期もよろしくお願いします。



## 地域とともに！

11月18日に起こった佐賀関の大火災。テレビやネットの映像に言葉を失いました。少しして我に返り、子どもは？学校は？等と不安ことがいろいろ出てきて、とにかく情報収集をしようと知り合いや職員に連絡していたことを今でも覚えています。

そこから1週間、子どもたちの「いつもお世話になっている地域に何かしたい」「被災された方々に早く笑顔になってもらいたい」等の思いから、地域のために力になろうと募金活動を行うことになりました。いいタイミングで育友会からも「何かするなら一緒にやりたい」という申し出をいただき、子どもや学校のできない部分をフォローしてもらいました。

3週間程の期間でしたが、子どもたちが募金箱を手作りし、箱を置いてもらえるように依頼に行き、自分たちでできる範囲ですが、やり遂げてくれました。また育友会のおかげで、多くのメディアに子どもたちの活動を取り上げてもらい、多くの方に活動を知ってもらえました。

多くの方々の善意で集められた募金は、義援金として、被災された方々のために使ってもらいます。子どもたちは、この活動を通して、自分たちでも何かできることを体験し、佐賀関という町が最高の『ふるさと』であることを再認識できました。

最後に、関わってくださった多くの方々に感謝します。また、被災され方が1日でも早く普通の生活に戻ることを願っています。

